

番組審議会議事録

日時 令和4年3月24日(木) 10:30～

場所 萩テレビ(株) 会議室

出席者 審議委員6名 会社側2名

議題

[1] 会社側の報告等

・近況報告

4月から人員が増え、午後の番組「アフタヌーン775」が2人体制なることが報告された。

・今回の審議番組について説明

昨年11月からスタートした新番組「お部屋タイム」。市役所勤務の27歳、田口宏孝さんが、自分の趣味を思いっきり語る30分番組。邦楽ロック、落語、漫画というテーマごとに、オススメの作品を紹介し、田口さん独特の目線で語っています。

[2] 番組内容の審議

次のような意見があった。

- ・とてもおもしろく、「また聴きたい」と思わせる番組だった。
- ・自分の視点をしっかり持つトークなので、聴いていて嫌みがない。
- ・曲のセレクトが独特でおもしろい。
- ・普段聴かないようなジャンルの音楽を聴けてよい。
- ・地域のイベントを紹介するなど、地域情報もあってよかった。
- ・落語をあまり知らない人も、興味を引きそうな内容であり、喋り方である。
- ・時々自分で自分を突っ込むセリフがあり、それがおもしろかった。
- ・音楽、落語、漫画、と30分番組にしては内容盛りだくさん過ぎる感じもしたが、聴いていて違和感なくあっという間に時間が過ぎる感じがした。
- ・それぞれの趣味を本当に好きなんだな、というパーソナリティの熱量を感じた。
- ・まだ始まって数か月だが、今後は楽しみになった。
- ・冒頭で自身の近況を報告するところが、普段の生活や感性に触れる気がして興味がわいた。
- ・コーナー「おかしな歌詞」では目の付け所と、曲の収集力に感心した。
- ・漫画(アニメ)の紹介コーナーでは、高齢者の自分世代には知らないものばかりで疎外感が少しあった。
- ・上方落語と江戸落語の違いについて語るところは、普段あまり意識してなかつ

たので「なるほど」とうなずいた。

- ・ 声に張りがあり、明瞭に聞こえる。違和感なく耳に入ってくる。
- ・ 広い範囲に興味を持っているパーソナリティで、その深さに感心した。
- ・ パーソナリティ自身も楽しみながらトークされているのが伝わってきて好感が持てた。
- ・ 市役所職員という硬いイメージがある職業の方が、マニャックなトークをするというギャップがいい。
- ・ 番組のことをたくさんの人に知ってもらって、もっとファンが増えてほしい。
- ・ 曲とトークの音のレベルがバラバラなところがあった。

<会社側からの回答>

- ・ 概ね良好な意見でよかった。
- ・ トークと曲の音のバランスについては、気を付けるようにする。
- ・ この番組は、地域にこういった面白い方がいる、という情報を耳にしたスタッフがスカウトして実現した番組。今後も人材発掘して幅広いジャンルの番組を制作していきたい。

[3] その他の意見

- ・ リスナーからの反応がもっとあったらいい。
- ・ このようなキャラクター性のある方を取り上げて番組制作を行っていることに敬意を表す。現在の多様性の時代には、いろいろなジャンルを取り上げることが大切と思う。
- ・ 公式 Facebook で定期的に生配信をしたり投稿したりしているが、コメントしたいと思っても、他の人に見られる恥ずかしさからかハードルが高い。そういう人が他にもいるかもしれないので、そのあたりを解消できる他の手段(公式 LINE など)があればいい。
- ・ 今回の審議番組の放送時間について、どうしてこの時間帯にしたのか気になった。「どんな人がどんな方法で聴いているのか？」をどう把握しているのか？
- ・ ラジオは防災面でも大切。地域に密着したラジオ局の役割はとて大きいので、どんどん啓蒙して行ってほしい。

<会社側からの回答>

- ・ 今は Facebook や Twitter、公式 HPなどを運用しているが、リスナーからの

メッセージをもっと受け取れるような体制を整えていきたい。

(公式LINE 開設など)

- FM ナナコは、夕方は帰宅途中の車で視聴いただいているパターンが多いと認識している。
- いざという時に役立つのがラジオ。普段から親しんでもらえる存在となるよう、地域のあらゆる場所で流してもらえるようにもっと努力していきたい。

[4] 次回開催について

次回は、令和4年5月20日(金) 10:30～開催、
審議番組は、今年4月からスタートする、久保田桂子さんによる「アフタヌーン775」に決まった。